



谷崎輝彦

本はインターネットへの第一歩

ここ2~3か月の間で、一挙にさまざまなインターネット関連書籍が山のように出版された。出版社も多種多様なら、書名もそれぞれ「3時間でわかる」から「30分でマスター」といったものまで、あきれほどの数の多さである（素朴な疑問としてその時間の基準は何なのだ?）。とりあえず、ここではインターネットの入門書の中でも最近発売されたスターキット系の書籍をいくつかあげておこう。

まず①は、本誌No.1のBook Reviewでもすでに紹介された、アメリカでベストセラーになっている分厚いMacintosh用インターネットスターキットの翻訳本である。3.5インチのフロッピーディスク付きで、インターネットに接続するための基本となるMacTCPとMacPPP、それにEudoraやAnarchie、MacWEBも収録されている。ただし、原書のディスクと同じであるため、バージョンが古かったり、Eudoraもオリジナルの英語版なので注意が必要である。翻訳版の付録の章は、日本国内のプロバイダーリストやサイトリストに変更してある。また、巻末の葉書で申し込むと、ASAHI ネットを2時間無料で利用できるゲストアカウントがもらえる特典が付いている。持ち運ぶには腕力があるが、かなりお買い得だ。

これに対して②は、ネットワークサービスプロバイダー初の「オフィシャル」なスターキット。Macintosh / Windowsの両方に対応している。本書の出版と同時に始まるIIJへのオンラインサインアップで

の加入方法や、付属のハイブリッドCD-ROMに添付されているソフトウェアの使い方などが詳しく説明されている。Macintosh用のソフトウェアはほとんど他の書籍と同じだが、Windows用としてInternet Chameleonの体験版とInternet Officeのデモ版が付属している。①と違って、こちらはゲストアカウントではなく正式アカウントの発行で、オンラインサインアップで申し込むと1万円分利用料金が無料になるサービス付きだ。さらに、CD-ROMには、IIJやソニー、オベルなどのWWWサーバーも収録されていて、WWWのネットサーフィンが仮想的に体験できる仕組みになっている。ムック形式であるため、年間4回のバージョンアップを予定しており、IIJ専用のインターネットソフトウェアも順次収録するそうだ。コストパフォーマンスはかなり高いだろう。

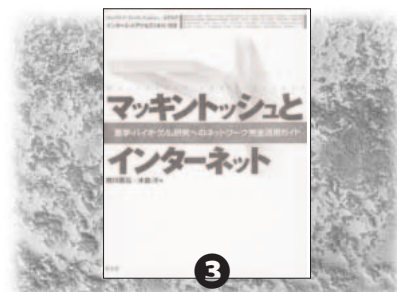
もう1つ、数多くのインターネット入門書の中でも、医学・バイオテクノロジー関係に的を絞った本が③。3.5インチディスクが付属していて、インターネットをMacintoshで利用するうえで必要なソフトウェアが収録されている。ただし、入門書としては解説文がかなり簡単すぎるので、事前にインターネットについての知識をある程度持っていないとつらいかもしれないが、ゲノムデータベースへのアクセス方法や、各種文献検索方法についての解説、巻末のメーリングリストやデータベースリストなどは、その分野の研究者にとって大いに参考になるだろう。



『インターネットスターキット for Macintosh 2nd Edition』
著者名 / Adam C. Engst 翻訳 / 小中健司、小松雅彦
出版社 / 株式会社ビー・エヌ・エヌ
頁数 / 908頁 / 価格 / 3800円
ISBN : 4-89369-313-1



『IIJ オフィシャルインターネットスターキット』
出版社 / 株式会社アスキー
頁数 / 272頁 / 価格 / 2400円



『インターネットとマッキントッシュ』
編著者名 / 鶴川義弘、水島洋
出版社 / 羊土社
頁数 / 200頁 / 価格 / 4900円
ISBN : 4-89706-605-0

『ブルーバックシリーズ 情報セキュリティの科学』

本書は、ユーザーが利用するインターネット上のサービスとは直接関係がないが、ネットワーク上の情報の安全性の管理として、セキュリティ管理の基本的なテクノロジーである「暗号化」について平易に解説した入門書だ。

ネットワーク関連のドキュメントやUNIXシステム管理などの書籍でよく見かけるDESやRAS暗号方式、デジタル署名といった単語がどういったものなのか、また暗号はどのような仕組みになっているのが、



著者名 / 太田和夫、黒澤馨、渡辺治
出版社 / 講談社
頁数 / 232頁 価格 / 760円
ISBN : 4-06-257055-6

数1程度の知識で十分に理解でき、さらに暗号というものがなぜ必要なのか一通り書かれている。

デジタル署名そのものは、最近ではMacintoshなら漢字Talk 7.5標準のPowerTalkでもDigiSignという名称で利用できるようになった。今後かなり普及し、また、必須のものとなる可能性が高い。本書にはクリッパーチップなどの話は出ていないが、暗号化に興味を持っている人や、ネットワークをビジネスに利用しようと思っている管理者が、暗号の基礎知識を得るには最適な入門書と言えるだろう。

『ネット・トラヴェラーズ'95』

本書を何と表現したらいいの言葉に窮してよくわからないが、インターネットとパソコン通信についてのアングラ的な話がいり書かれている。

帯に「刺激的カルチャーマップ」とあるように、アダルトネットワークについての詳しい話や、電子メールでの文通希望欄のページ、オンライン恋愛、新興宗教BBS、インターネットの中の音楽情報(たとえば自殺したカート・コバーンの妻コートニー・ラブが登場したニュースグループの話)、個人で開局する格安のBBSについてなど、さ



編著者 / Net Travellers' Tribune
出版社 / 翔泳社
頁数 / 255頁 価格 / 1800円
ISBN : 4-88135-211-3

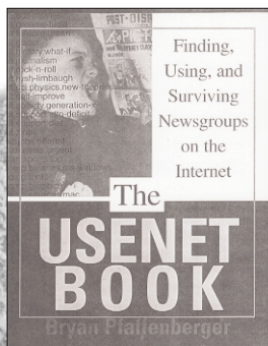
まざまな内容がテンコ盛り状態に詰め込まれている。

生理的にこういった本が肌に合う人と拒絶反応を示す人がいるだろうが、ネットワークというコミュニティ社会の一面をピピッド(?)に紹介していることは確かである。実社会にも、写真雑誌やお昼のワイドショー番組的な雑誌があるのだから、ネットワークに関してのこういった書籍があってもいいだろう。個人的には好きなほうだ。後半は、世界中のWWWサーバーのカタログなので、前半よりも安心(?)して読めるが、それでもアングラものが多い。

『The USENET BOOK』

古い歴史をもつNetNewsのUSENETについてのガイドブック的な書籍だが、他のイエローページに較べて、各ニュースグループがもう少し詳しく紹介されている。紹介されているニュースグループは、ピギナー向けやゲームもの、カルチャー指向のものに分類され、約300種類をトップニュースグループとして掲載されている。また、マークでお勧めニュースグループにランクが付けられている。

前半は「NetNewsとUSENETってなに?」を解説した入門部分に加え、ダイア



著者名 / Bryan Pfaffenberger
出版社 / Addison Wesley Publishing Company
頁数 / 468頁 価格 / US\$26.95
ISBN : 0-201-409078-X

ルアップIP接続の方法から、ニュースリーダーソフトのrnやnn、tin、さらにWindows用のWinTrumpetとMacintosh用のNewsWatcherの使い方、またアメリカオンラインやデルファイ、コンピュサーブからのNetNewsの読み方なども解説されている。随所にTIPSとして、紹介しているニュースグループに関連するドキュメントのanonymous FTPサイトも掲載されている。図版はほとんどないが、これまで読んだ洋書のなかでも、USENETに関して包括的に解説した書籍としてお勧めの一冊と言えるだろう。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp